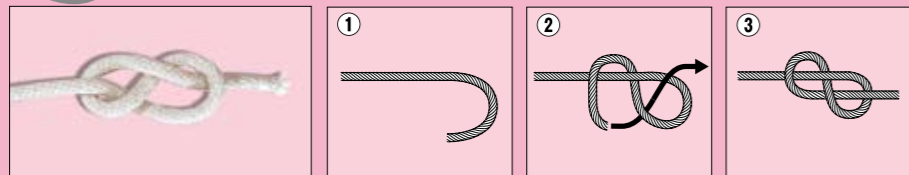


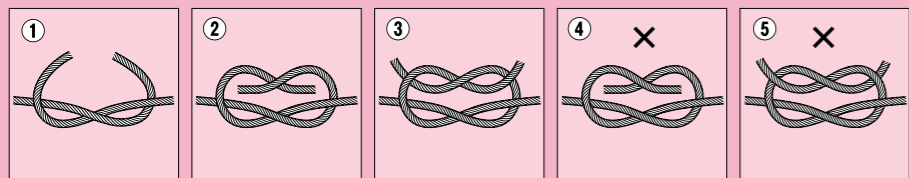


うさぎ……8の字結び、本結び（こま結び）、引きとけ結び。

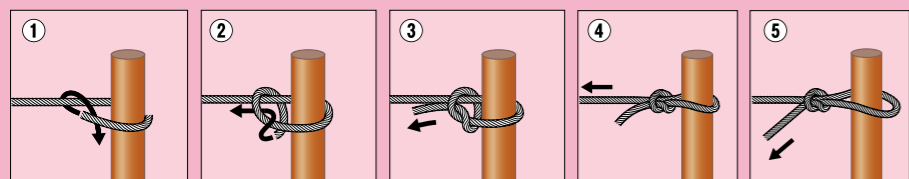
●8の字結び 綱の端を止めるのに使う。



●本結び
2本のなわをつなぎ合わせたり、ものをしばってとめるときなどいろいろな目的にもっとも多く用いられる。
(注意) ④～⑥のように、1回目と2回目の交差が同じ重なりになってしまうとほどけやすい。①～③のように、左右の輪から伸びるそれぞれのなわが輪の同じ側にぬけるようにするのがポイント。



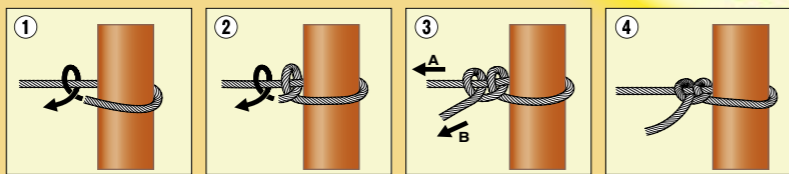
●引きとけ結び
輪をつくるのに使い、大きな輪から小さく引きしめていくときに便利。④のように、元の側をひっぱると輪がきつくなる。⑤のように巻きつけて結んだ先の側を引っ張ると輪がゆるむ。輪を棒からぬいてしまっても④の側を引っ張ると結び目は簡単にほどける。



しか……ふた結び、もやい結び、巻き結び（インク結び）、一重つぎ（はた結び）。

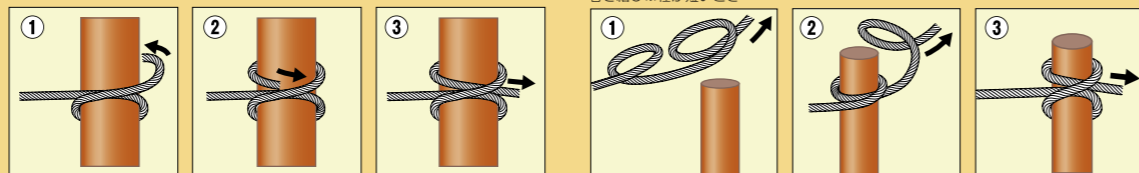
●ふた結び

ひと結びを完全にしたもので、結び目は「巻き結び」になるように結ぶのが正しい結び方である。



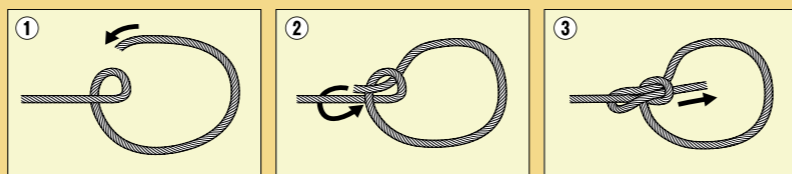
●巻きむすび

ピンをひもでつるのに都合よく、柱、帆柱を安定させるため、張綱を止めるとき、足場を組み立てるとき、柱と柱とを結びつけるときに使う。



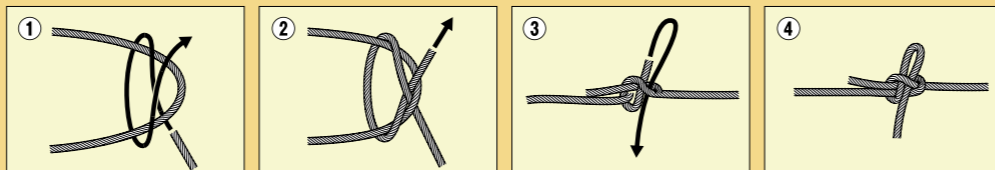
●もやい結び

輪に使う。結び目が移動しないから輪の大きさが大きくも小さくもならないので、使い方によっては大変便利で役立つ結び方である。この輪をからだにかけて高いところから人を降ろしたりする人命救助などに利用される。綱の元を引っ張られながら自分のからだに輪をす早くかけることができるよう十分練習しておく必要がある。



●一重つぎ（はた結び）

2本の綱の太さや湿度が違う場合とか、一方の端が短しか使えないような場合に都合のよい結び方である。はたを結ぶときは④のようにほどきやすくしておく。

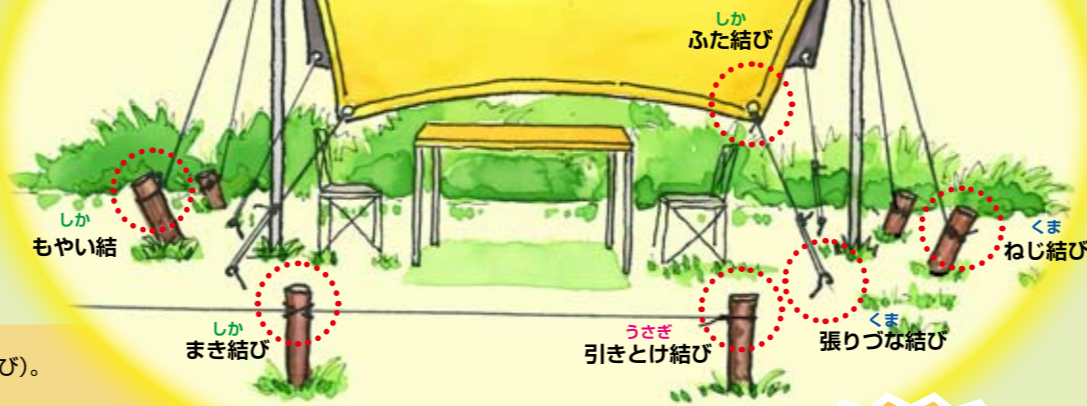


楽しいハイキングやキャンプで役に立つ

カブスカウト部門で学ぶ

「なわ結び」
がんばって練習しよう。

ロープ一本でいろいろな結び方ができるよ。最初はむずかしく感じるかもしれないけど、ゆっくり練習してゆけば、かならずじょうずになるよ。じょうずになったらハイキングやキャンプが、もっと、もっと楽しくなるよ。おかあさんやおとうさんに教えてあげても楽しいよ。



●ねらい●

結び方をおぼえるだけでなく、用途に適した結び方が思いつくようにする。

<指導者のみなさんへ>

カブの修得課目に必要ななわ結びは、それほど種類が多くはないので、隊集会にむけてそれぞれのスカウトが練習をしてくれば、苦労しながらもなんとか修得できるものです。ところが集会に向けて練習してきてできるようになった結びも、しばらく使わずにいると簡単に忘れてしまうものです。

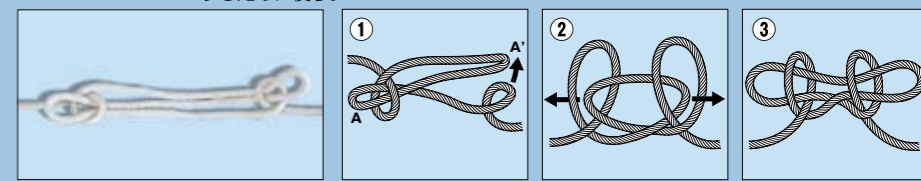
たとえば前の集会で覚えた結びを次の集会のゲームのときにフィールドを区分するラインを作るのに使ってみたり、ハイキングの休憩のときにタオルかけなどのためになわを張ってみたり、ときおり集会の主題とは関係ないような部分でも、ロープを扱う機会を設けてあげてください。

「前にちゃんと練習したからできた」という経験は、新たな挑戦へのモチベーションともなる貴重なものです。

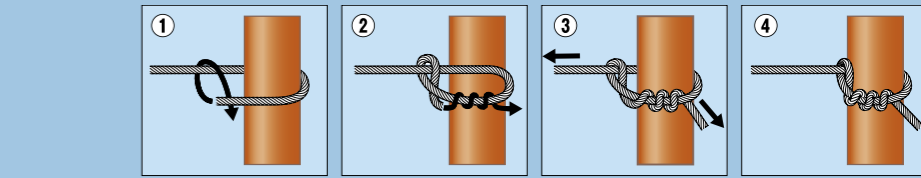


くま……ちぢめ結び、ねじ結び、張りつな結び（トートライン・ヒッチ）、えび結び。

●ちぢめ結び 綱を引っ張っておくと、綱を必要なだけの長さに短くしたり、綱の弱った部分を保護するために使う。

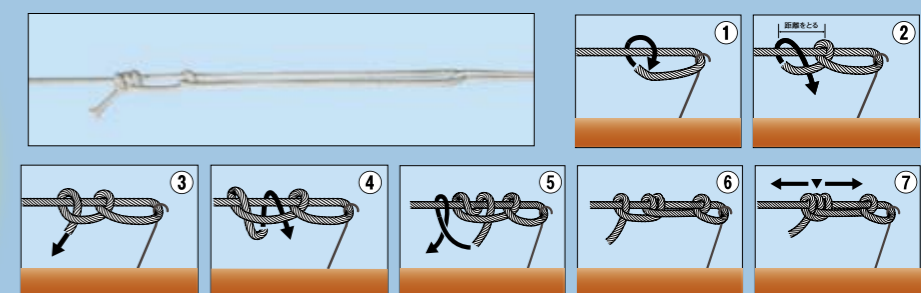


●ねじ結び
帆げた、柱、荷物などに綱の端をしぼるのに使ったり、丸太を引っ張るのに使う。



●はりつな結び（トートライン・ヒッチ）

テントの綱の端をとめるのに使う。図⑦の結び目をスライドさせて、はりつなを調整できる。



●えび結び

ロープをまとめるときに使う。また、この方法は持ち歩きにとっても便利である

